

平成29年4月から雇用保険料率が引き下がります

「雇用保険法等の一部を改正する法律案」が平成29年3月31日に国会で成立しました。

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの雇用保険料率は以下のとおりとなります。

- ・ 失業等給付の保険料率は、労働者負担・事業主負担ともに1/1,000ずつ引き下がります。
- ・ 雇用保険二事業の保険料率（事業主のみ負担）は、引き続き3/1,000です。

平成29年度の雇用保険料率

事業の種類	負担者	②事業主負担	失業等給付 の保険料率	雇用保険二事 業の保険料率	①+② 雇用保険料率
	①労働者負担 (失業率給付の保 険料率のみ)				
一般の事業 (平成28年度)	3/1,000	6/1,000	3/1,000	3/1,000	9/1,000
	4/1,000	7/1,000	4/1,000	3/1,000	11/1,000
農林水産※・清酒製造の事業 (平成28年度)	4/1,000	7/1,000	4/1,000	3/1,000	11/1,000
	5/1,000	8/1,000	5/1,000	3/1,000	13/1,000
建設の事業 (平成28年度)	4/1,000	8/1,000	4/1,000	4/1,000	12/1,000
	5/1,000	9/1,000	5/1,000	4/1,000	14/1,000

※ 園芸サービス、牛馬の育成、酪農、養鶏、養豚、内水面養殖および特定の船員を雇用する事業については一般の事業の率が適用されます。

条件のよい会社があればさっさと移るほうが得である・・・(公財)日本生産性本部アンケート結果から

公益財団法人日本生産性本部は、2016年度の入社半年後の新入社員を対象としたアンケートを実施しました。調査結果の主なポイントは以下のとおりです。

1. 【過去最高】54.6%条件のよい会社があればさっさと移るほうが得である

「条件の良い会社があればさっさと移るほうが得だ」と思うかを質問したところ「そう思う」と答えた割合が、17年ぶりに過半数を超え、かつ過去最高となった(54.6%)。また、2016年春の意識調査と比較では、26.6ポイント増、2015年秋との比較では6.2ポイント増加となった。

2. 【過去最低】37.8%自分には仕事を通じてかなえたい「夢」がある

「自分には仕事を通じてかなえたい「夢」がある」との問いに、「そう思う」と答えた割合は、37.8%と1991年の調査開始以来、春・秋の意識調査を通して過去最低を記録した。

3. 【過去最高】86.3%残業が少なく、平日でも自分の時間を持って、趣味などに時間が使える職場が良い

「残業が多く、仕事を通じて自分のキャリア、専門能力の向上に期待できる職場」と「残業が少なく、平日でも自分の時間を持って、趣味などに時間が使える職場」とどちらを好むかとの問いに、「残業が少ない職場を好む」とる回答が86.3%となり、最高値だった2015年秋の最高値(81.1%)を上回り、春・秋の意識調査を通して過去最高となった。

4. 【過去最低】61.5%会社の親睦行事への参加

「会社の運動会などの親睦行事には、参加したいか」を問うたところ、「そう思う」と回答した割合が61.5%と2011年春から調査開始以来、最低となった。2016年春の調査からは20.8ポイント低下。2015年秋の調査からは、6.5%低下した。

5. 【過去最高】84.1%子供が生まれたときには、育休を取得したい

「子供が生まれたときには育児休暇を取得したい」との問いには、84.1%が「そう思う」と回答。男性でも77.3%となり、質問をはじめた2011年から、春・秋の意識調査を通して過去最高となった。

●子ども・子育て拠出金(旧：児童手当拠出金)が引き上げられます

平成29年度の子ども子育て拠出金率：0.23% (平成28年度は、0.20%)